

統合マネジメントシステム監査の 着眼点を身に着ける

現在、ISOのマネジメントシステム規格は、ISO 9001(品質)、ISO 14001(環境)をはじめ、数多くのマネジメントシステム(MS)規格が存在します。しかし、構成・用語の定義等、必ずしも統一されていないのが現状です。

一方で、複数のMS規格に取り組む組織も増えてきており、規格を使う組織側としては、構築・内部監査ともに、大変使いにくいものとなっており、その弊害として、複数のMSが存在しているところが多いようです。

このような背景もあり、ISO 9001/14001は、2015年に規格の共通構造を定めた「附属書SL」に基づいた改正が行われました。複数のMSの統合や、複数のMSを同時に確認する内部監査(統合MS監査)に対する組織の期待・ニーズが高まることが予想されます。

統合MS監査においては、複数の監査を同時に実施できるという“効率性”のメリットがあります。また、ISO 9001/14001は、それぞれの規格の目的が相反することもあり、組織としてどちらの側面を重視して対応するか、判断が求められることもあります。その点で、統合MS監査では、品質向上(ISO 9001)の側面と、環境保全(ISO 14001)の側面を、同時に監査することで、別々の監査では見えてこなかった、重複や矛盾点を見つけ、組織としての“全体最適”を見出すことができます。

当コースでは、統合マネジメントシステムの考え方・着眼点を中心とした講義とISO 9001/14001の両方の認証取得組織をモデルとした架空組織に対するケーススタディにより、監査手法を習得していただく演習主体のカリキュラムとなっています。

JRCA/CEAR登録 QMS、EMS CPDコース(6.5時間) 統合マネジメント システム 内部監査員コース

コースID：TM63

- JRCA/CEAR 登録QMS/EMS CPDコース
- プロセスを重視した、統合MSのチェック項目・監査の視点・監査技法を習得。
- カリキュラムの半分以上を“演習”とした、実践的なカリキュラム。

コース対象者

- 統合監査に携わる内部監査員・内部監査管理者の方
(これから携わる予定の方にも)
- 統合マネジメントシステムを構築されている組織の事務局の方
(これから構築しようとしている組織の方にも)
- 統合(複合)審査に携わる方

※ISO 9001・ISO 14001規格及び、いずれかの内部監査を一通り理解されている方を対象としたカリキュラムです。
必要に応じて、ISO9001/ISO14001の各「規格入門コース(TQ51B/TE51B)」
又は「内部監査員2日間コース(TQ31/TE31)」の事前受講をお奨めいたします。

日程

〈地名表記がないコースは川崎開催です〉

コースID	開催No.	コースID	開催No.
TM63	2018年 No. 35 12/ 4(火)	TM63	No. 37 3 /13(水)
	2019年 No. 36 1 /23(水) 大阪		

日数

1日間

定員

24名

受講料

30,000円 +税

(テクノファ会員の方 27,000円+税)

会場

テクノファ川崎研修センター
(JR川崎駅徒歩7分 京急川崎徒歩3分)
テクノファ大阪研修会場
(JR新大阪駅東口から徒歩1分)

カリキュラム

9:15~17:30

- 講義1：附属書SL制定の背景と概要、マネジメントシステムの統合の考え方と監査の視点
- 講義2：統合マネジメントシステムにおけるISO 9001/14001要求事項の重点項目解説
- ケーススタディ1：統合MS内部監査のストーリー
- ケーススタディ2：質問の切り口(チェックリストの検討)
- ケーススタディ3：ロールプレイ